

A Land with Everything

道北周遊ガイドブック

楽しみ方、自由自在！ 道北でアウトドア体験

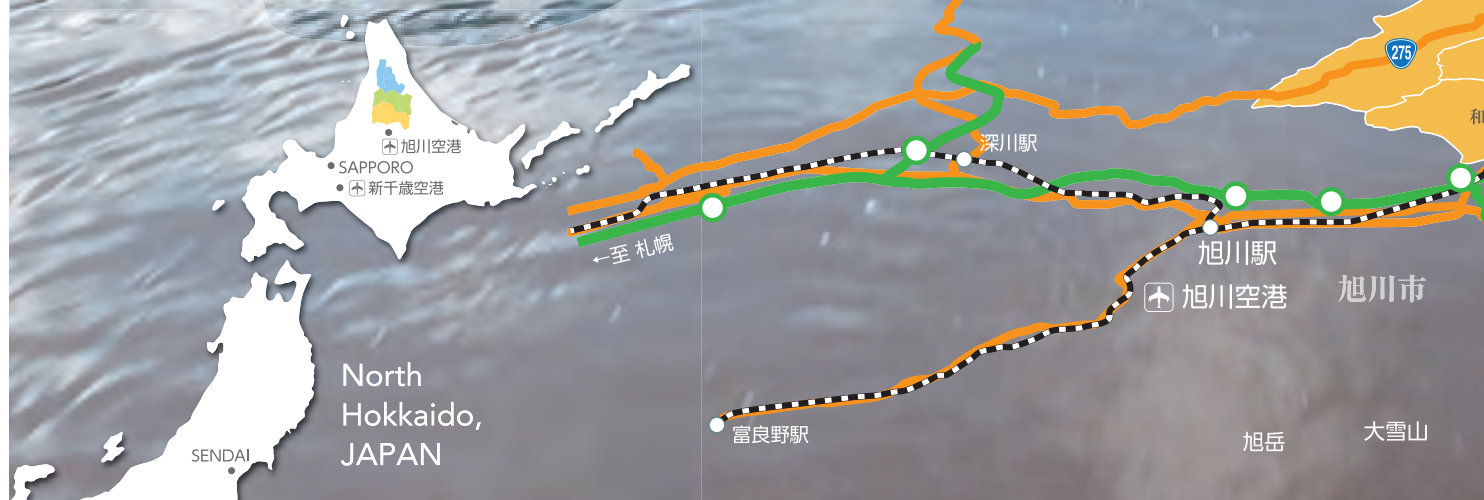
北海道の北に位置する、
旭川から稚内までの広いエリア。
北に向かって流れる大河・天塩川を中心に、
人の手が入っていない自然が多く残り、
その森の奥には大きな湖が豊かな水をたたえています。

いま、道北では、自由なアウトドア旅を楽しむ人が増えています。

天塩川流域ではカヌーやキャンプ。
道北を南北に貫く国道40号をメインに、
よく整備された道路を繋いでサイクリング。
鉄道は移動手段としてだけでなく、
道北ならではの鉄道風景を撮影することもできます。

ありきたりな観光旅行ではない、
自分次第でいくらかでも楽しみ方を変化させられるはず。

A Land with Everything——どんなことでもできる場所、
それがここ、道北です。



道北へのアクセス ※名寄市で算出

東京
国際空港
(羽田) 全
TOKYO



東京(羽田)⇄新千歳空港
東京(羽田)⇄旭川空港

約1時間30分
約1時間40分



新千歳空港駅⇄札幌駅
札幌駅⇄名寄駅
旭川駅⇄名寄駅

約 40分
約150分
約 60分



札幌⇄名寄
旭川⇄名寄



約180分
約 90分



旭川空港⇌名寄駅 1日(約100km)
旭川空港⇌稚内(宗谷岬) 3日(約330km)

発行/道北観光連盟(名寄市、士別市、和寒町、剣淵町、幌加内町、下川町、美深町、音威子府村、中川町)
http://www.douhoku.com/douhokukankou_top.html
事務局/NPO法人なよろ観光まちづくり協会 名寄市東1条南7丁目1-10 駅前交流プラザよろーな1F
<http://www.nayoro-kankou.com/>

遊べる大河

天塩川

てしおがわ

chapter

1

北海道遺産にも選定されている天塩川は、道北を南北に縦断する一級河川で、全長256km。北に向かって流れる川です。約160kmにわたって人工物がなく、日本一のロングツアーができるカヌーの聖地です。周りには深い森が生い茂り、まるで世界に自分ひとりだけになったかのような気分が味わえるかもしれません。仲間とキャンプをしながら、時には川辺でゆっくり語らい、時には釣りにいそしむなど、自分流の遊び方を見つけてください。



天塩川で遊ぶなら

●美深町

コスモスカヌー企画

http://www.d1.dion.ne.jp/~ksms_70/

リバートリップ キャメル

<http://camel-trip.biz/>

●音威子府村

天塩川温泉リバーサイドキャンプ場

中川郡音威子府村咲来919

手軽な本格

クラフト & プレイ

chapter

2

ちょっとだけ自然に恵みを分けてもらい、自分の手に合う道具を自分で作り出すことから始める、もうワンランク進んだアウトドア。ナイフで木を削ってカップやお皿をその場で作って料理を載せたり、手作りの雪板(スノーボード)で雪山を滑り降りたりと、「作って遊ぶ」こと、これを「クラフト&プレイ」とわたしたちは呼んでいます。四季を通じて自然の優しさと厳しさを感じられるはずです。



クラフト&プレイにおすすめなのは…

●美深町

リバートリップ キャメル <http://camel-trip.biz/>

●音威子府村

山村都市交流センター木遊館

音威子府村字音威子府179-1

●下川町

NPO法人森の生活 <http://morinoseikatsu.org/>

魅力的な不便

エコ・ モビリティ

chapter

3

「エコ・モビリティ」とは、自転車やカヌー、フットバスなどの「人力」によるアクティビティ要素を含む移動手段と公共交通を組み合わせた、移動そのものを観光として楽しむ新たな旅のスタイルです。例えば、JRで移動したらレンタルサイクルを借りて移動し、天塩川に下りたら自転車を積んでカヌーを楽しむ…。大河と国道、そして鉄道が並行に走る道北だからこそ実現できる旅に出かけませんか。



レンタルサイクルステーション

●剣淵町

ビバアルパカ牧場 剣淵町東町3733

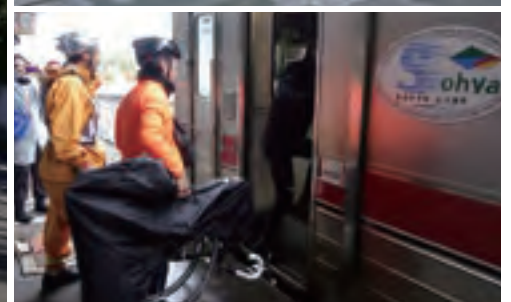
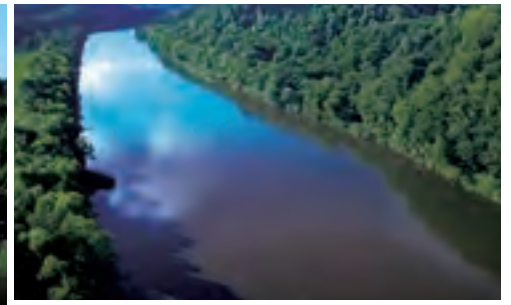
●名寄市

駅前交流プラザ「よるーな」

名寄市東1条南7丁目1-10

●中川町

ナポートパーク 中川町中川439-1



道北 エリアマップ

南エリア

●和寒町●剣淵町●幌加内町(南部)●士別市

中央エリア

●名寄市●下川町●幌加内町(北部)

北エリア

●美深町●音威子府村●中川町





南エリア

道北周遊マップ

- 和寒町
Wassamu
- 剣淵町
Kembuchi
- 幌加内町(南部)
Horokanai
- 士別市
Shibetsu

旭川市のすぐ北、和寒町から北上するエリアです。かぼちゃや越冬キャベツなどの農産物が有名な和寒町では、「全日本玉入れ選手権」というユニークなスポーツが誕生しました。その北隣、剣淵町は映画「じんじん」のロケ地にもなりました。ロケ地めぐりも行程に入れてみてはいかがでしょうか。さらに西のお隣、幌加内町は「そばの里」。作付面積が日本一になったこともあります。本州には主に原料として出荷されており、もしかするとあなたが食べているそのおそばは、幌加内産かも!?そしてこのエリア最北の士別市は、顔の黒い羊・サフォーク種の生産地。北海道グルメの定番、ジンギスカンの中でも最高級といわれるお肉です。ぜひ味わってみてくださいね。



和寒町

Wassamu



1 夫婦岩

まちを見守る夫婦岩

町内を一望できる南丘のてっぺんに、高さ10mにもなる2つの「男岩」と「女岩」、さらに小さな「子岩」の3つが並んでいます。1200~1300万年前の火山活動で噴出した溶岩が固まってできたといわれています。



2 塩狩峠記念館

作家・三浦綾子さんの旧宅を復元した建物で、小説「氷点」を執筆した部屋や小説・映画「塩狩峠」に関する資料などを展示しています。

和寒町はかぼちゃの作付面積が日本一!種を食べるかぼちゃとして、ペボカボチャの一種「ストライプペボ」の産地化に向けても取り組んでいます。



問合せ/
和寒町役場産業振興課 商工観光労政係
TEL. 0165-32-2423
<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

士別市

Shibetsu



3 羊と雲の丘

地域ブランド羊肉「士別サフォークラム」

広大な放牧場にたくさんのサフォーク羊を放牧しており、敷地内にあるレストラン「羊飼いの家」では、希少な士別産羊肉(ラム)のオリジナル料理を食べることができます。その他にも、世界各国の羊にエサやり体験ができる「世界のめん羊館」や、羊毛製品作りが体験できる「めん羊工芸館くるん」があります。



天サイダー

天塩川の水と、士別産の砂糖「ビートオリゴ」を使用した、ご当地サイダーです。



4 天塩岳

標高1557.6m、北見山地の最高峰の山。北海道の希少種「エゾナキウサギ」の生息地としても知られています

問合せ/
士別観光協会 TEL.0165-29-2225
<http://www.shibetsu.ne.jp/kanko-k/>

剣淵町

Kembuchi



5 けんぶち絵本の館

国内外の絵本4万冊を蔵書する施設。絵本を使ったおはなし会や創作教室、木のおもちゃで遊べる空間もあり、幅広い年齢に人気です。毎年夏に、来館者投票による「絵本の里大賞」の作品が決定されます。



6 ビバアルパ牧場

もふもふの毛並みと人懐っこさが特徴のアルパカと触れ合える施設です。えさやりなども体験可能。レンタルサイクルステーションもあります。



7 眺望の丘バス停

映画「じんじん」のロケ地となった剣淵町の中でも、重要なシーンが撮影された場所。映画のために設置されたバス停が現在も残されています(バスは来ません)。

問合せ/
剣淵町観光協会 TEL.0165-34-3848
<http://www.kembuchi-kankou.com/>

中央エリア 道北周遊マップ

- 名寄市
Nayoro
- 下川町
Shimokawa
- 幌加内町(北部)
Horokanai

道北の中部にあたる3市町。豊かな農村風景と森林が広がり、さまざまな姿を見せてくれます。名寄市はもち米の里として知られ、道の駅では色とりどりの大福餅が購入できます。夏になると各所でひまわりが咲き乱れ、多くの観光客が訪れます。天文台での星空観察もおおすすめです。下川町は木質バイオマスボイラーによるエネルギーの自給自足に取り組むまち。森林環境教育にも力を入れており、子どもたちは就学前から森に親しみ成長します。そして幌加内町の北部は、まさに秘境ともいえる森と湖のある場所。日本最大の面積を誇る人造湖・朱鞠内湖では、幻の魚と呼ばれるイトウ釣り、冬はワカサギ釣りを楽しめます。キャンプ場や宿泊棟も併設しており、大自然に包まれた贅沢な時間を過ごせるでしょう。



名寄市 Nayoro



500万本のひまわりがお出迎え

毎年7月末～8月中旬まで、市内全域で開催されます。メイン会場のサンビラーパークでは、夜間ライトアップも実施。昼間とは異なる幻想的な風景をお楽しみください。



国内最大級の「リカ望遠鏡」で望む満天の星空は圧巻！晴天率が高い名寄だからこそこの体験です。



もち米も名産品の一つ。全国的に有名なお菓子の原料にもなっており、道の駅では15種類を超えるカラフルな大福餅が購入できます。

問合せ/
NPO法人なよろ観光まちづくり協会 TEL.01654-9-6711
<http://www.nayoro-kankou.com/>

幌加内町

Horokanai



11 朱鞠内湖

北欧の湖畔にいるような錯覚をもたらす、日本最大級の人造湖です。自然の原型を今なお留め、絶滅危惧種のイトウがすむことから、釣りやアウトドアの聖地ともいわれています。夏はキャンプやイトウ釣り、冬は凍った湖面に穴を開けて楽しむワカサギ釣りが人気。隣接の『レークハウスしゅまりない』では、夕食に地元の食材を活かしたダッチオープン料理を提供します。



12 白銀の丘 そば畑

日本一のそばの産地

幌加内町はそばの作付面積、収穫量ともに日本一のそばの里。毎年7月下旬～8月上旬には、真っ白なそばの花に覆われ、「幌加内には2度雪が降る」といわれるほどの美しさです。見ても食べても美味しい、幌加内のそばをぜひどうぞ。



問合せ/
NPO法人シュマリナイ湖ワールドセンター
幌加内町字朱鞠内 TEL.0165-38-2029
<http://syumari.com/>

下川町

Shimokawa



13 体験工房 木子精(きのこころ)
<http://kinokokoro.net/>

町の間伐材を使ったマイ箸づくり体験ができます。こぶや節、割れなどのある端材の個性を活かした小物家具なども手作りしています。

(マイ箸づくり体験) ■10:00～18:00(要予約) ■所要時間約1時間30分 ■大人1,000円 ■中学生以下500円(最大8人)



14 手延べうどん・炭火焼き みなみ家
<http://shimokawa-minamiya.com/>

下川町産のハルユタカを使った、町内の製麺所の生めんを使用。モチモチとして風味豊かなうどんは、遠方からも訪れるファンがいるほど。



15 万里長城

町民の手で作った手作りの観光地。2月にはアイスキャンドルをともしイベントが開催され、冬の夜に人々の心を温めます。

問合せ/
しもかわ観光協会 TEL.01655-4-2718
<http://www.shimokawa-time.net/>

北エリア

道北周遊マップ

- 美深町
Bifuka
- 音威子府村
Otoineppu
- 中川町
Nakagawa

天塩川沿いに並ぶ3町村。かつては木材の輸送のために天塩川が利用されていたことから、いずれの町村も林業や木材を運ぶ鉄道が発展してきました。いま美深町では、天塩川でのカヌーをはじめとしたアクティビティが盛んに行われています。また、道の駅やびふかアイランドは利用者の人気も高く、町産ジャガイモのコロッケや、地元の牛乳で作られたソフトクリームやチーズも美味しいと評判です。音威子府村は、皮ごと挽いた真っ黒なそばで有名。10kmほど離れた箆島地区には、彫刻家である故・砂澤ビッキの美術館があります。中川町には天然林が多く残り、林業従事者＝きこりが多く働いています。冬にはきこりの技術と経験がものを言う「きこり祭り」も開催されます。



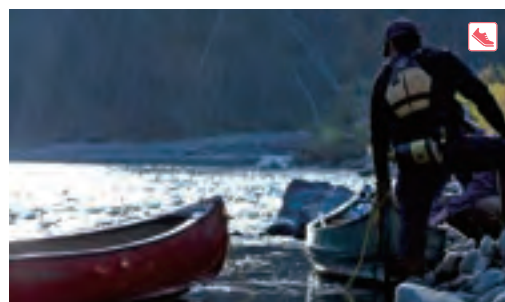
美深町

Bifuka



16 トロッコ王国美深
<http://www.bifuka-kankou.com/torokko.php>

廃止となった旧美幸線の鉄道をトロッコ運行として蘇らせました。本物の鉄道レールの上をトロッコに揺られて走る、往復約10kmののんびり旅を楽しみましょう。運転免許があれば運転もできます。



天塩川でのカヌーやドリフトボートのツアーなどを提供するガイド。水辺のさまざまな楽しみ方を教えてください。



17 松山湿原

日本重要湿地の一つ。標高797m、広さ25ヘクタールの高層湿原で、登山道は片道約30分と、初心者でも安心のコースで自然散策を体験できます。

問合せ/
美深町観光協会 TEL.01656-9-2470
<http://www.bifuka-kankou.com/>

中川町

Nakagawa



18 天塩川de水切り北海道大会

北海道で唯一！「遊べる大河」で水切り

石を投げて、水面を跳ねる回数を競う「水切り」。幼いころ、多くの人が熱中したであろうこの遊び、毎年7月に開催される大会には、幅広い年齢層の参加者が訪れてにぎわいます。



ハスカップサイダー

町産ハスカップの美味しさを広めようと誕生したサイダー。ハスカップ果汁を5%使用し、添加物を一切加えていません。強めの炭酸と爽やかな酸味が特徴の大人のサイダーです。



19 中川町エコミュージアムセンター

町内で発掘された化石が展示された博物館です。夏季には化石発掘体験なども実施します。

問合せ/
中川町観光協会 TEL 01656-8-7085
<https://nakagawatourism.com/>

音威子府村

Otoineppu



20 北海道命名之地碑

幕末の探検家・松浦武四郎が虻田地区を訪れた際、「北海道」の名づけのきっかけになったエピソードがあります。2018年で、「北海道」と名づけられて150年。この機会に命名の地を訪れ、武四郎と同じ景色を眺めてみませんか。



21 エコミュージアムおさしまセンター
<http://bikyateller3more.wixsite.com/atelier3more>

彫刻家である故・砂澤ビッキの作品が100点以上展示され、ビッキが生きた時代や虻田での創作の時間を感じることができます。ビッキが店内装飾を手がけた札幌のスタンドバーも復元され、喫茶のできる空間もあります。



22 天塩川温泉

炭酸水素塩・塩化物冷鉱泉で、旅の疲れを癒してくれます。露天風呂からは雄大な天塩川の流れを眺めることもできます。

問合せ/
音威子府村役場経済課 産業振興室
TEL.01656-5-3313
<http://www.vill.otoineppu.hokkaido.jp/>

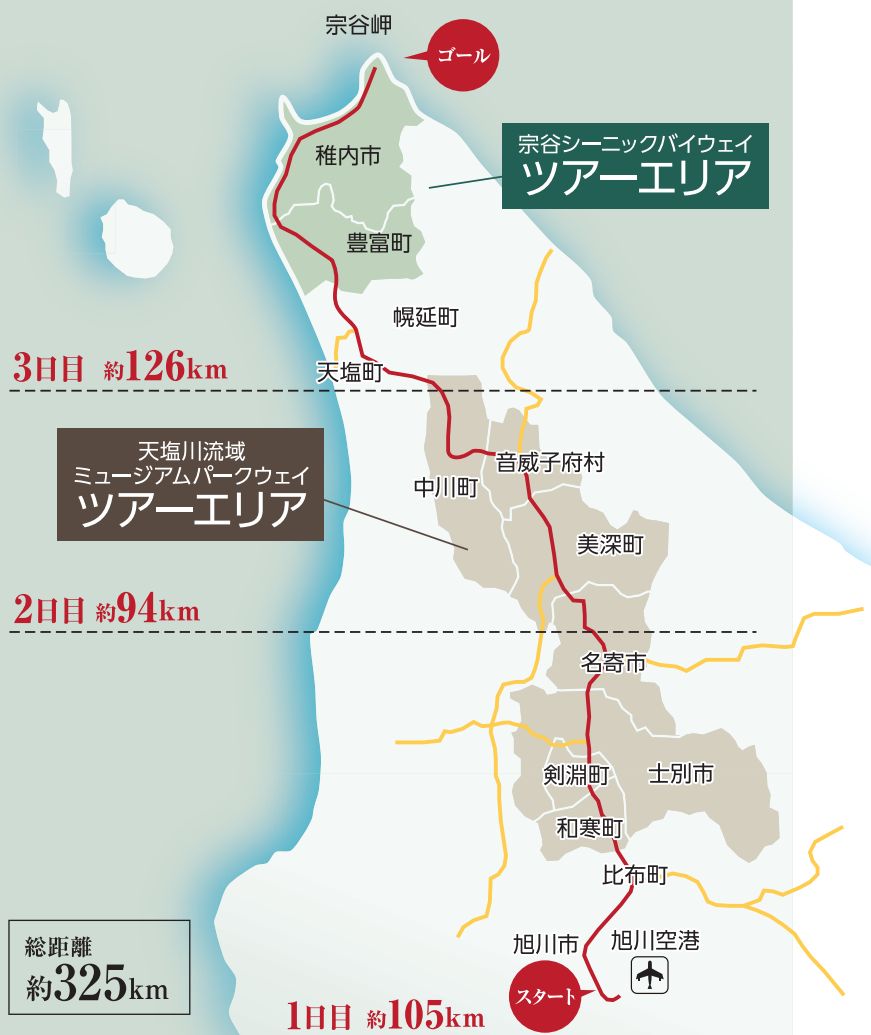
ひと かわ 自然 みち。

天塩川シーニックバイウェイは、日本最北の大河「天塩川」と国道40号がほぼ並行して走っており、ルート
の各地域が持つ資源と、北海道遺産でもある天塩川とその流域の資源とを有機的に織りなし、「かわ」と
「みち」と「ひと」と「自然」の共存を目指しています。



「みち」が繋ぐ
日本のTEPPEN

北海道を
訪れたなら目指すべき、
日本のてっぺん・宗谷岬。
毎年、サイクルイベント
「Longライド TEPPEN」も実施。
もちろんドライブルートとしても
おすすめです。



北の大河に人と自然の調和が織りなす道

天塩川 シーニックバイウェイ



シーニックバイウェイ (Scenic Byway) とは、

景観を表すシーン (Scene) の形容詞シーニック (Scenic) と
わき道、より道を意味するバイウェイ (Byway) を組み合わせた言葉です。